



CONSERVATION
INTERNATIONAL
Japan



Fides
FUNDACIÓN PARA LA INVESTIGACIÓN
Y DESARROLLO SOCIAL



SATOYAMA
INITIATIVE

自然災害に対応できるレジリエンスと 生物多様性

Conservation, Resilience & Natural Disasters

自然災害を考えると、景観とコミュニティのレジリエンスは環境保全プロジェクトにおいて非常に重要な課題です。地震や異常気象の自然災害の経験から、災害に対しどう備え、回復力を高めるか、世界各地の事例をもとに考えてみませんか？このイベントは、SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップのメンバーである、FIDES(エクアドル)と CORFOPAL(コロンビア)の代表が来日する機会をとらえて開催されます。

場所: 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)
東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1F
日時: 2018年5月24日(木)18:00-20:00

18:00-18:15 受付

18:15-18:20 開会の挨拶

18:20-18:50 2016年のエクアドル大地震:FIDESの環境社会レジリエンスに向けた挑戦(アンドレア・カリスポ・クイント)

18:50-19:20 コロンビア・サンタローサ流域の乾燥森林の生物多様性と生態系サービスの保全(セバスチャン・オージェラ・サラザール & アンドレ・クインテロ・アンヘル)

19:20-19:30 自然災害へのレジリエンスを高める作物の多様性の重要性:フィリピンの例(名取洋司)

19:30-19:55 質疑応答

19:55-20:00 閉会の挨拶

Speakers



アンドレア・カリスポ・クイント
プロジェクトアシスタント
FIDES(エクアドル)



セバスチャン・オージェラ・サラザール
エグゼクティブ・ディレクター
CORFOPAL, (コロンビア)



アンドレ・クインテロ・アンヘル
科学ディレクター
CORFOPAL(コロンビア)



名取洋司
科学応用マネージャー
CI ジャパン



デボン・ダブリン
GEF-Satoyama プロジェクト・
コーディネーター
CI ジャパン



登録については[こちら](#)をクリックしてください。
日英逐次通訳付き